

令和7年度 第4回 佐藤小学校運営協議会 会議録 (要点記録)

1. 開催日時 令和8年2月12日(木) 9時00分から11時00分まで
2. 開催場所 浜松市立佐藤小学校 会議室
3. 出席委員 尾上 弘、酒井 里江子、伊藤 安男、湯山 紀美代、安富 小織、鈴木 涼介
4. 欠席委員 一之瀬 正行
5. オブザーバー 神谷 匠 (東部協働センター コミュニティ担当)
6. 学 校 松下 欣美 (校長)、高木 康泰 (教頭)、大石 葉子 (CS担当)、
坂倉 祥子 (CSディレクター)
7. 傍聴者 なし
8. 会議録作成者 CSディレクター 坂倉 祥子
9. 議長の選出

司会から、前回に引き続き尾上会長を推挙する旨の発言があり、全員異議なく了承した。

10. 協議事項

- (1) 令和7年度学校関係者評価 (「いじめ防止基本方針」についてを含める)
- (2) 令和8年度学校運営の基本方針
- (3) 学校運営協議会の自己評価

11. 会議記録

司会の大石から、委員総数7人のうち6人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 令和7年度学校関係者評価

議長の指示により、CS担当から別紙資料に基づき説明があり、自分の良さに気付く子に育てるために、地域や家庭でできる事について具体的な意見を求め、委員からは以下の発言があった。

- 安富委員** 低学年と高学年では感じ方や基準が異なるため、設問や分析を分けるべきではないか。また、前年度の比較や教育目標の達成度を測るための評価項目があってもいいと思う。
- 尾上委員** いじめ防止・対応の項目など、教員と児童や保護者の意識にずれがあるのが気になる。他者との関わりの中で、人との違いが誰かの役に立つという経験や、自分の良さを実感できる機会・方向づけを作っていく事が学校の役目だと感じる。
- 鈴木委員** 個性・多様性も大事だが、それを活かすための協調性も必要。自分の良さをどう活かすかを考える事が、すべてに繋がっていくのではないか。
- 伊藤委員** 学校・家庭・地域の連携をいっそう深め、家庭や地域の大人が助言や指導をしつつ、個性の活かし方を教えていくべき。反対や共感など、多様な関わりを経験させることが他者を否定しない心を育てるのではないか。
- 湯山委員** 人と対話を繰り返し、自分を認める経験や他者理解を深める機会を大切にすべき。共感し、周りで支える大人や地域の存在が必要だと感じる。
- 酒井委員** 地域で活躍する多様な大人の話の直に聞く経験を通じ、考え方の柔軟性を養いたい。子供たちが本音を打ち明けられるような地域の人材を学校に紹介する等、接点を作っていきたい。

(2) 令和7年度学校運営の基本方針について

議長の指示により、校長より、刷新されたグランドデザインに基づき、教育目標の実現に向けた来年度の学校運営の基本方針が説明された。「多様性の尊重」を軸に、自分らしさを大切にする教育活動を学校経営の柱とする事、および予測困難な時代を生き抜くためのキャリア教育(4つの力)を推進する旨が示された。

熟議の結果、校長の方針の中にあつた多様性を理解する、キャリアの4つの力を育てることは大切との考えを共通理解し、全員異議なくこれを承認した。

(3) 学校運営協議会の自己評価

口頭にて自己評価について話し合い、別紙資料にまとめた。

12. 報告事項

(1) 令和7年度学校支援活動の取組について

学校支援コーディネーターの安富さんから、学校支援ボランティアの活動報告や次年度に向けての課題について説明があつた。

(2) 夢育やらまいか事業について

大石から、夢育やらまいか事業についての報告、説明があつた。

その他報告事項

大石から今後の学校公開について、参観会2月13日(金)・6年生を送る会2月27日(金)卒業式3月17日(火)の案内があつた。

また、来年度の学校運営協議会委員の交代と、第1回学校運営協議会の開催についての案内があつた。なお、開催日時については現在調整中であり、決定次第改めて周知することを確認した。